

## 2018年度

授業科目名	ヒロシマのころ					科目コード	E1002
担当者	古澤 敏昭 / 佛圓 弘修					履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 平和とは何か、現在の国際社会において平和の大切さ、難しさを学び、一人ひとりが何をしなければならないかを考え、平和な心と豊かな人間性の大切さを学修する。真の恒久平和は、武力ではなく平和的手段によって、日常生活での地道な実践の積み重ねから実現できるもの。「平和をつくる」ことの意義と具体的方法論について核被爆の実相と「ヒロシマのころ」に照らしながら考察する。							
(到達目標) ① 「原爆被災の実相」(物理・医学・人道的)の正確な理解 ② 「ヒロシマのころ」(被爆者の心情・核廃絶への決意)の継承と実践 ③ 「平和を創る」という意識の向上と日常生活での実践、並びに「建学の精神」の体現							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業の妨げになるので私語は禁止。配布のレジメと資料を中心に講義を進める。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	日程
1	原爆被災証言を聴く会Ⅰ(中学1年生が体験した被爆の現実から)					古澤 敏昭	9/28(金) ②
2	原爆被災証言を聴く会Ⅱ(復旧復興への思想と行動・大学建設へ)					古澤 敏昭	10/ 5(金) ②
3	『振り返り』から学習問題をつくる(子どもたちと創る平和教育とは何か)					佛圓 弘修	10/19(金) ②
4	広島県・市における平和教育実践(「へいわノート」の活用)①					佛圓 弘修	10/26(金) ②
5	広島県・市における平和教育実践(「へいわノート」の活用)②					佛圓 弘修	11/ 2(金) ②
6	「原爆被災の実相」の理解とヒロシマの文学(「はだしのゲンが伝えたいこと」)					佛圓 弘修	11/16(金) ②
7	学外学習の計画(「平和学習指導案づくり」を完成させるための視点整理)					佛圓 弘修	11/30(金) ②
8	学外学習①(平和記念資料館・国立追悼記念館見学と碑・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修	12/ 1(土) ①
9	学外学習②(平和記念資料館・国立追悼記念館見学と碑・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修	12/ 1(土) ②
10	学外学習③(平和記念資料館・国立追悼記念館見学と碑・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修	12/ 1(土) ③
11	学外学習④(平和記念資料館・国立追悼記念館見学と碑・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修	12/ 1(土) ④
12	学外学習の総括(ワークシート整理・プレゼンテーション発表・総合討論)					佛圓 弘修	12/ 7(金) ②
13	「核兵器と核を巡る今日の状況」の理解					佛圓 弘修	12/14(金) ②
14	「平和を創る」行動化(「ヒロシマ」から「ひろしま」へ)					佛圓 弘修	12/21(金) ②
15	これからの平和教育実践に求められる資質・能力					佛圓 弘修	12/28(金) ②
成績評価方法							
授業内で記入するコメントシート 50%、 見学・観察及び討論、プレゼンテーションの内容と主体的なかかわり 50%							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
広島市平和教育プログラム/へいわノート		広島市教育委員会					
広島県教育資料		広島県教育委員会					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業での課題等のもとより、平和問題について日常生活でも疑問を感じたら、そのままにはせず、どのように考えるべきかを探求していきましょう。そのうえで、他者と議論をすることで自分の考えをさらに深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
事務室連絡(082-236-2233 内線103)を原則とするが、研究室訪問でもよい。							